

事 務 連 絡
令和7年2月10日

関係各博物館 代表者 殿

文化庁企画調整課

「令和6年度 ミュージアム・トップマネジメント研修」の実施について

令和5年4月より改正博物館法が施行され、博物館が社会教育施設であるとともに、文化施設として多様な主体との連携を行い、文化観光やまちづくりへ寄与することが求められこととなりました。また文化庁では、学芸員の資質向上を目的とした研修事業についても、法改正の趣旨を踏まえた改編を進め、令和4年度より、文化をつなぐ研修、トップマネジメント研修、パブリックリレーションズ研修の3研修を実施しております。

このうち、館長・副館長・管理職を対象とし、マネジメント・事業評価・改善等に関する高度な専門知識の習得や博物館運営責任者としての力量向上を目指す「令和5年度 ミュージアム・トップマネジメント研修」を下記の要領で開催することとし、受講者を募集します。

については、貴館において本研修への参加希望者がある場合は、応募者ごとに下記応募フォームへの入力を行ってください。受講の可否については文化庁において選考の上決定し、応募者に直接通知します。

記

1. 開催趣旨：博物館及びそれに類似する施設の館長・副館長・管理職に対し、博物館の役割と機能、マネジメント、事業評価・改善に関する高度な専門知識、及び、博物館を取り巻く社会の動向等について学ぶ機会を提供し、博物館運営の責任者としての力量を高める。
2. 主 催 者：文化庁、国立教育政策研究所
3. 対 象 者：博物館及びそれに類似する施設の館長・副館長・管理職
上記と同様の職務を行うと主催者が認める者

4. 実施期間：令和7年3月5日（水）～7日（金）（3日間）
5. 実施方式：①現地参加（50人／全日程全科目の受講が可能な者）
②講義科目のみのオンライン視聴（300人）
6. 開催会場：文化庁東京庁舎（東京都千代田区3-2-2）
7. 研修内容：別紙のとおり
8. 申込方法：受講希望者本人が下記のリンク先にアクセスし、必要事項を記入する。
<https://forms.office.com/r/Y6imzzNzmw?origin=lprLink>
申込期限は、令和7年2月25日（火）12時まで
9. 備考：・受講決定は、2月25日（火）夕方頃を目途にメールにて通知を予定。
・現地参加の場合、全日程全科目の受講を修了の要件とし、部分受講は認めない。受講及び配布資料は、無料とする。
・講義科目のみオンライン参加の場合、受講は無料とし、パソコンの用意や通信に係る費用は、各受講者が負担すること。
・修了証は交付しない。
ただし、現地参加において全日程全科目を履修した受講済者については、当該研修の修了者として氏名を文化庁ホームページにて公表予定。

問合せ先

文化庁 企画調整課 博物館振興室 研修担当（山口）

住所：〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

電話：03-5253-4111（内線 3152）

E-mail: museum@mext.go.jp

令和6年度 ミュージアム・トップマネジメント研修

1 研修の趣旨

博物館及びそれに類似する施設の館長・副館長・管理職に対し、博物館の役割と機能、マネジメント、事業評価・改善に関する高度な専門知識、及び、博物館を取り巻く社会の動向等について学ぶ機会を提供し、博物館運営の責任者としての力量を高める。

2 研修の概要

主 催 者：文化庁、国立教育政策研究所
対 象 者：博物館及びそれに類似する施設の館長・副館長・管理職
上記と同様の職務を行うと主催者が認める者
実施期間：令和7年3月5日（水）～7日（金）（3日間）
実施方式：対面参加（最大50名程度）
オンライン(視聴のみ最大300名程度)
開催会場：旧文部科学省庁舎 6階講堂

	初任	中堅	ベテラン
管理職			
事務職			
学芸職			

 ミュージアム・トップマネジメント研修
 文化をつなぐミュージアム研修
 ミュージアム
パブリックリレーションズ研修

3 日程とカリキュラム

【3/5(水)】	時間	テーマ	概要
開講式	10:00～10:15	開講式・ガイダンス	
【序章】 新しいミュージアム像	10:15～11:15	社会を科学で捉え、科学を文化で捉える	博物館が人のため社会のために存在することを改めて認識し、未来社会における博物館の可能性を考える。
	篠田 謙一	国立科学博物館長	
	11:30～12:00	博物館の経営課題	社会構造の変化に伴い、地域や社会への高い貢献が求められる博物館において、管理職に求められる経営戦略を考える。
	中尾智行	文化庁 参事官(文化拠点担当)付 博物館支援調査官	
【1章】 社会構造の変化と文化施設	13:00～14:00	都市の中の文化施設	人口減少と高齢化が進む社会において、博物館等の文化施設が存在する意義や地域への貢献について考える。
	羽藤 英二	東京大学大学院工学系研究科教授	
	14:15～15:15	価値の認識、創造、発信	展示の面白さをどのように伝え、どれだけ来場者を呼び込むか、メディアへの露出を駆使する米国NYメトロポリタン美術館の事例から学ぶ。
	高淵 直美	株式会社エヌ・ティ・ピーアール代表 (元米国NYメトロポリタン美術館 広報担当)	

	15:30～16:30	産業としてのアート、それを発信する文化施設	クリエイティブに係る産業規模が拡大傾向にあるなか、博物館をはじめとする文化施設が果たす役割を考える。
	井上 智治	井上ビジネスコンサルタンツ 代表取締役	

【3/6(木)】

	時間	テーマ	概要
グループワーク1	10:00～15:30	グループディスカッション 「これからのミュージアムマネジメント」	1. 多様な運営資源の獲得と博物館活動の充実 2. 博物館の基本的運営方針(使命・目的)、その達成評価と発信
グループワーク2	15:45～17:00	ディスカッションテーマについて発表	

【3/7(金)】

	時間	テーマ	概要
【2章】 文化施設における社会貢献	10:30～11:30	ミュージアムの価値を多角化する	社会への発信と貢献を見据え、博物館が持つ価値を様々な視点で捉え直す東京国立博物館の挑戦を紹介する。
	竹之内勝典	東京国立博物館 総務部総務課長	
【共通】 博物館法改正に伴う重要事項	13:00～14:00	リスク管理と対処	博物館の運営に係るリスクの種類と近年の課題(コレクションマネジメント等)を認識し、その予防と対処について学ぶ。
	山口俊浩	文化庁 企画調整課 建築資料調査官	
	14:15～15:00	博物館を取り巻く法令と支援制度	・登録及び指定の促進 ・地方財政措置や税制優遇 ・DX推進 ・機能強化事業
	荒川瑞穂	文化庁 企画調整課 課長補佐	
討議	15:15～16:15	質疑応答、全体討議	参加者全員及び文化庁職員による質疑応答。
閉講式	16:15～16:30	閉講式、事務連絡	